

JOY 88鍵盤 電子ピアノ

DP-881

取扱説明書



安全上のご注意

次に示す注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、火災、感電、人身傷害など事故を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。また、本書はご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠ 警告

この注意事項を無視した取り扱いを行うと、使用者が死亡するまたは重症を負うなどの重大な事故を引き起こす可能性が予想されます。

- この機器を分解したり、改造したりしないでください。
- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。
- 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。
- 修理は販売店に依頼してください
- この機器は音量設定により難聴になる可能性があります。音量の調整に注意し、大音量で長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

設置環境に関して

- 次のような場所での使用や保管はしないでください。
 - ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
 - ・ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
 - ・ 雨に濡れる場所
 - ・ ホコリの多い場所
- 本機の上に液体の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。
- この機器を、くらついた台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。
- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。
- この機器を落としたり、機器に強い衝撃を与えないでください。
- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

電気、電源に関して

- アダプターは、必ず AC100V の電源コンセントに差し込んでください。
- 付属アダプターはこの機器以外には使用しないでください。
- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードがショートを起こしたり、断線するなどして、火災や感電の原因になる恐れがあります。
- 濡れた手で電源コードのプラグを持って、コンセントに抜き差しをしないでください。
- アダプターをコンセントに抜き差しするときは、必ずアダプター本体を持ってください。
- この機器を移動するときは、アダプターをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。
- 長時間使用しないときは、アダプターをコンセントから外してください。
- 落雷の恐れがあるときは、早急にアダプターをコンセントから外してください。
- 完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッチを切った後、アダプターをコンセントおよび本体から抜いてください。
- 次のような場合は、直ちに電源を切ってアダプターをコンセントおよび本体から外し、販売店に修理を依頼してください。
 - ・ アダプターやコードが破損したとき

- ・ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- ・ 機器が（雨などで）濡れたとき
- ・ 機器に異常や故障が生じたとき

■ 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険、物的損害の発生が想定されます。

- 小さなお子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたすに事前に注意してください。必ず保護者の方が監視／指導してあげてください。

使用上のご注意

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。
- アダプターを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。
- この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハムノイズ（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- 故障の原因になりますのでスイッチやボタンに必要な力を加えないでください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出る場合があります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出る場合があります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 至近距離から照らす照明器具や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機の上にゴム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。

お手入れについて

- 本製品の表面をお手入れする前に、アダプターをコンセントから外してください。
- お手入れは、柔らかな布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、スイッチ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がからないように、特に夜間は音量に十分注意してください。

仕様および付属品

● 製品仕様

寸法：幅 1295 × 高さ 113 × 奥行き 281 mm

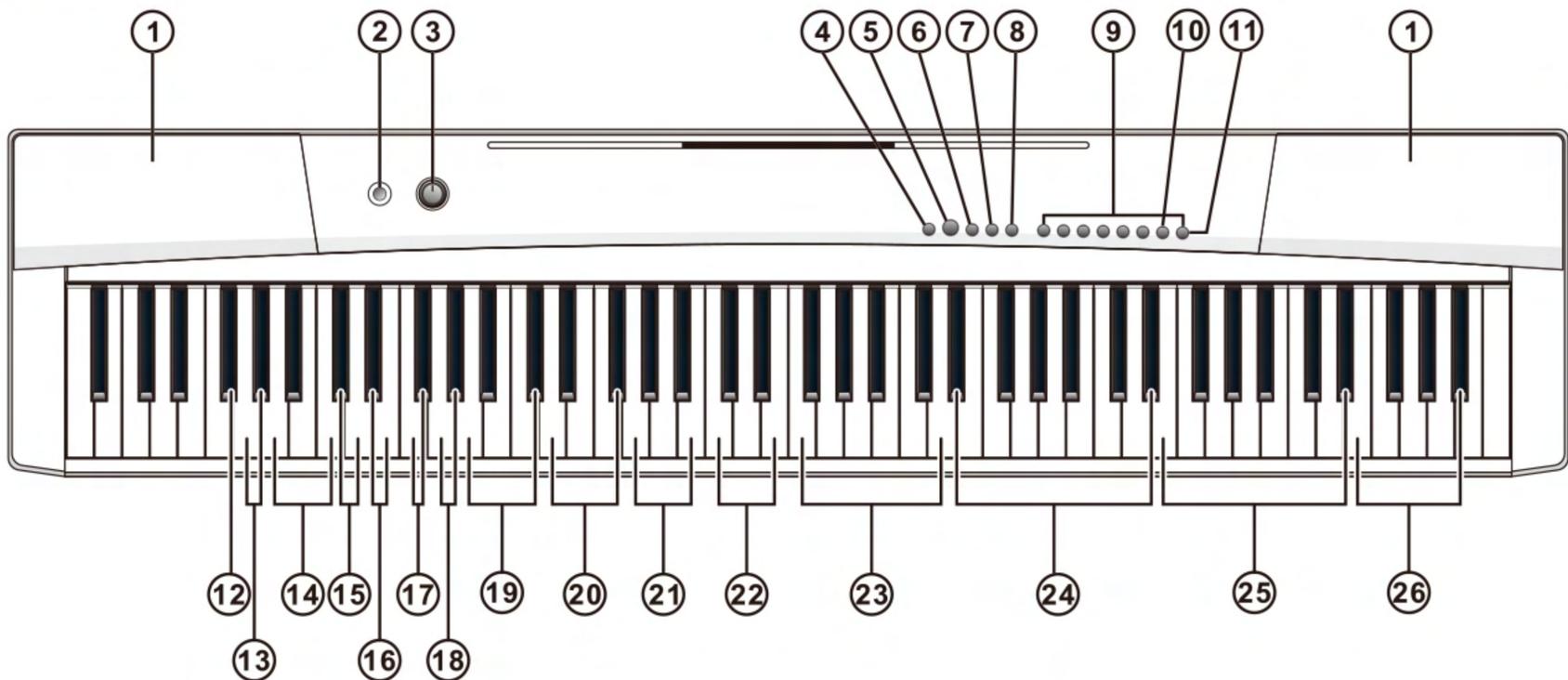
重量：6 kg

● 付属品

- ・ キーボード本体
- ・ 譜面台
- ・ ACアダプター
- ・ 専用フットペダル
- ・ USBケーブル ×2
- ・ 取扱説明書

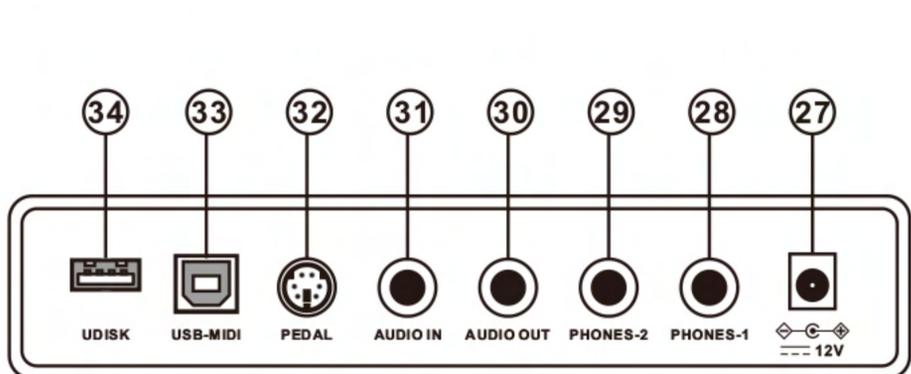
I. 各部名称と外部出力端子

● フロントパネル



- | | | |
|-----------|--------------|----------------------|
| ① スピーカー | ⑪ GM音源 | ⑳ デュアル音色1 音量 |
| ② 電源 | ⑫ 鍵盤操作 オン/オフ | ㉑ デュアル音色2 音量 |
| ③ 音量 | ⑬ 録音 | ㉒ メトロノーム音量 |
| ④ ファンクション | ⑭ タッチ | ㉓ メトロノーム拍子 |
| ⑤ デモ | ⑮ サスティン | ㉔ テンポ |
| ⑥ メトロノーム | ⑯ ビブラート | ㉕ デモソング / GM音源 |
| ⑦ レッスン | ⑰ トランスポーズ | ㉖ UDISK MUSIC PLAYER |
| ⑧ スプリット | ⑱ スプリットボリューム | |
| ⑨ 音色 | ㉒ デュアル音色2 音量 | |
| ⑩ パーカッション | ㉓ メトロノーム拍子 | |

● 背面パネル



- | |
|-------------------|
| ②⑦ 電源アダプター(DC12V) |
| ②⑧ ヘッドホン1 |
| ②⑨ ヘッドホン2 |
| ③⑩ 外部出力 |
| ③⑪ 外部入力 |
| ③⑫ ペダル |
| ③⑬ USB-MIDI |
| ③⑭ USBメモリー |

II. 準備

● 電源アダプター

必ず付属の専用電源アダプターを使用してください。

付属の電源アダプターを[⑳電源アダプター]に接続した後、100Vのコンセントに接続してください。

● ヘッドホンの使用

2つのヘッドホン用端子（6.3mm）が装備されています。

[㉔ヘッドホン1]または[㉕ヘッドホン2]にヘッドホンを接続すると、

スピーカーは自動的に消音になり周りを気にすることなく個人練習や2人での演奏をお楽しみいただけます。

※長時間大音量での使用はお控えください。

● 外部出力

DP-881にはスピーカーが内蔵されていますが、さらに音声を外部出力することもできます。

本体と外部機器の電源を切った状態で[㉙外部出力]端子から別のオーディオ機器へ接続してください。

（接続ケーブル別売）

● 外部入力

DP-881ではスマートフォンやMP3プレイヤーなどの音声を入力する端子が搭載されています。

本体の電源を切った状態で[㉚外部入力]端子にお手持ちのデバイスを接続してください。（接続ケーブル別売）

● サスティンペダルの使用

[㉛ペダル]端子に付属のフットペダルを接続しご使用ください。

● USB-MIDI端子

スマートフォンやタブレットPCを接続する際は本体背面の[㉜USB-MIDI]を使用します。

● UDISK MUSIC PLAYERの使用

DP-881には、USBメモリー内に保存されたMP3ファイルを再生する

「UDISK MUSIC PLAYER」機能が搭載されています。

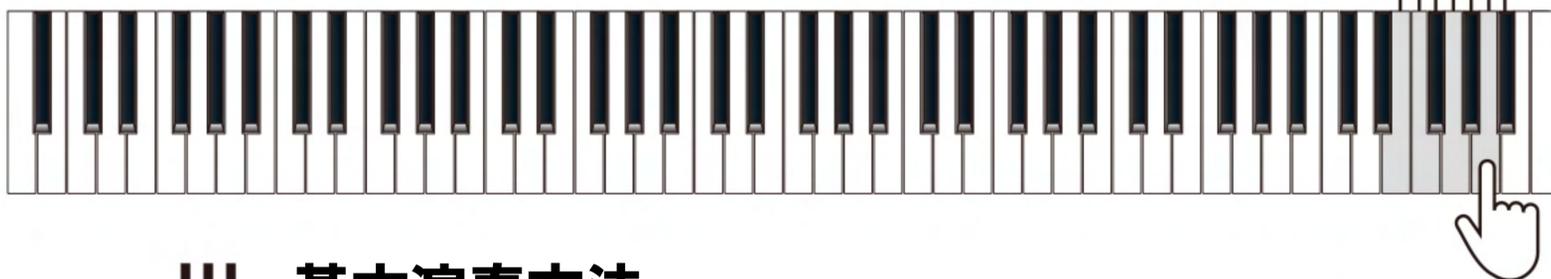
USBメモリー（別売）を本体背面の[㉝USBメモリー]に接続し、

[④ファンクション]と「UDISK MUSIC PLAYER」操作対応鍵盤の[オン/オフ]を同時に押すことで音楽再生機能を使用できます。

操作方法

- ・ [④ファンクション]と[▶||]対応鍵盤：音楽の再生/停止
- ・ [④ファンクション]と[-||| +]対応鍵盤：音量の調整
- ・ [④ファンクション]と[◀◀] または [▶▶] 対応鍵盤：前/次の曲へ移動
- ・ [④ファンクション]と[↺/↻/↻] 対応鍵盤：
繰り返し押すことでリピート/ランダム/1曲リピートの切り替え
- ・ [④ファンクション]と[オン/オフ] 対応鍵盤：MP3音楽再生機能のオン/オフ

ファンクション



III. 基本演奏方法

[②電源]を押すと [ピアノ] ボタンが点灯し、演奏準備完了です。

● ボリュームの調整

音量は [③音量] つまみで調整できます。

音量はご自身の演奏や音楽の再生等すべての音量調整に使用されます。

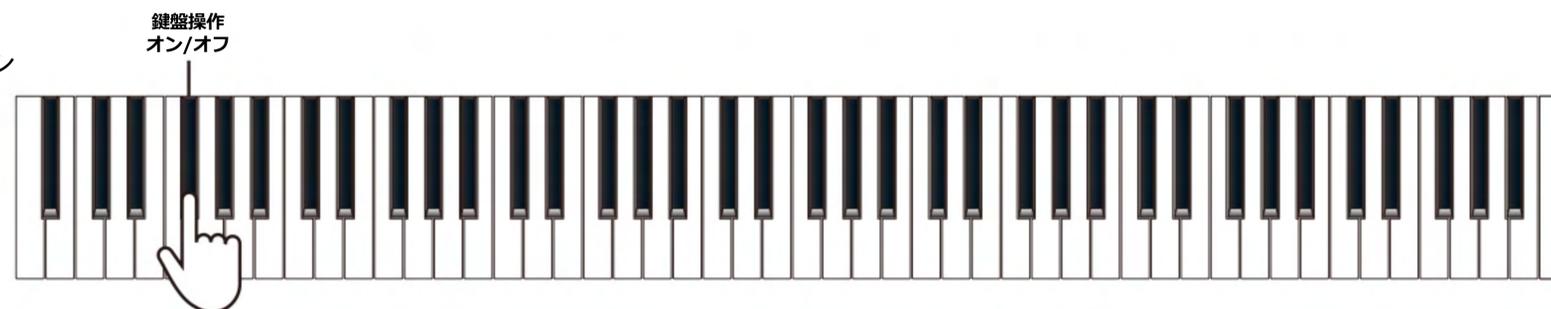
● 機能操作のオン/オフ

DP-881は[④ファンクション]とそれぞれの操作に対応した鍵盤を同時に押すことで様々な機能を使用することができます。

電源をつけた初期段階からこの機能は有効になっています。

鍵盤の機能操作をオフにしたい場合は [④ファンクション] と [⑫鍵盤操作オン/オフ] 対応鍵盤を同時に押します。

ファンクション



● 音色の選択

DP-881には"000"から"139"まで140種類の音色が収録されています。

電源を入れた際は [ピアノ] ボタンが点灯し、ピアノの音が出るようになっています。

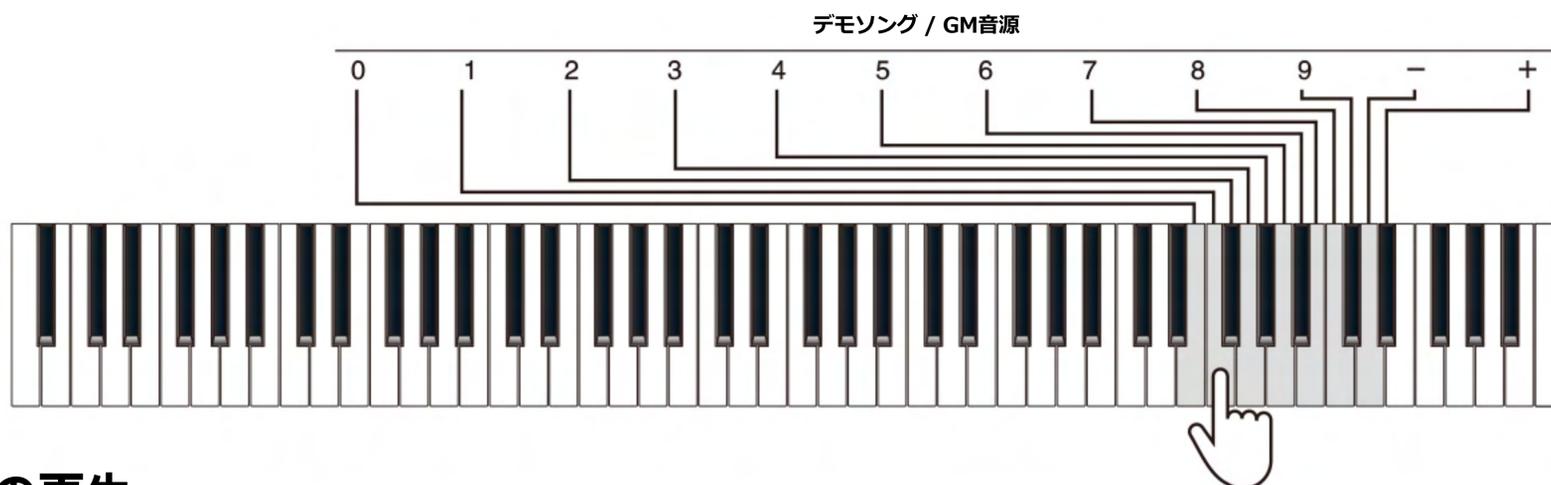
8つの基本音色はフロントパネルのボタンを使ってワンタッチで選べるようになっています。

[⑪GM音源] を押すと " 088 Pad1 (New Age)" が選択されるようになっています。

さらに他の音色を選択するには、[⑪GM音源] とお好きなGM音源の番号 ("000"~"139") を「デモソング / GM音源」操作対応鍵盤に振ってある番号で選択します。

※搭載音色については巻末の一覧をご参照ください。

GM音源



● デモソングの再生

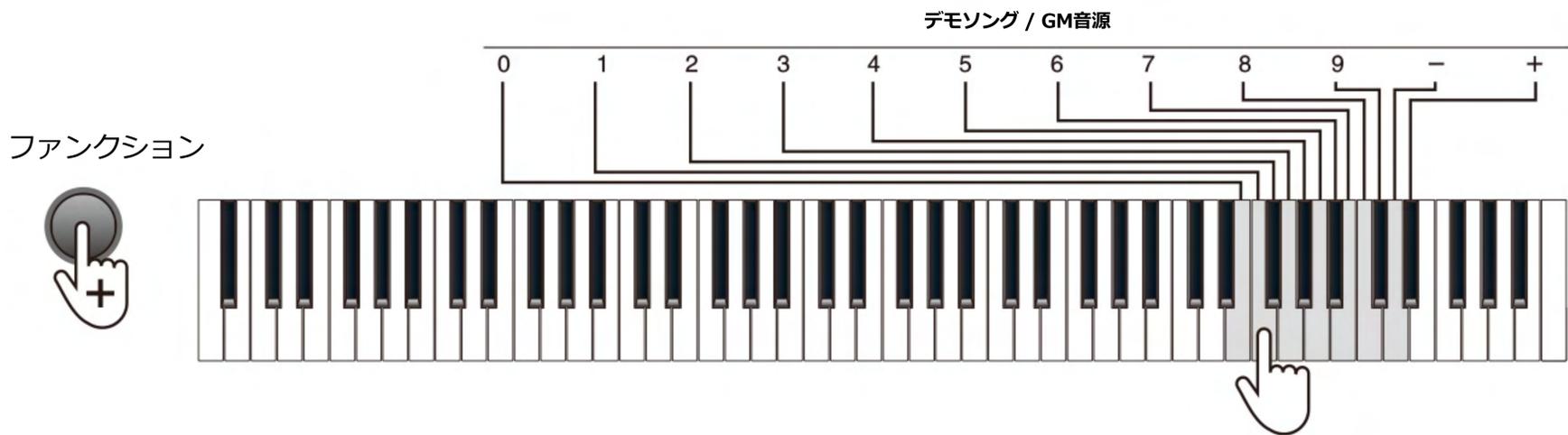
[⑤デモ] を押すとデモソング再生、もう一度押すと停止します。

"00"から"15"まで16種類のデモソングを収録しており、

[④ファンクション]と「デモソング / GM音源」操作対応鍵盤に振ってある番号 ("00"~"15") で選択します。

デモソングの再生途中に他の音色を選択すると、選択した音色でデモソングを聴くことができます。

※パーカッションとスプリット機能には対応していません。

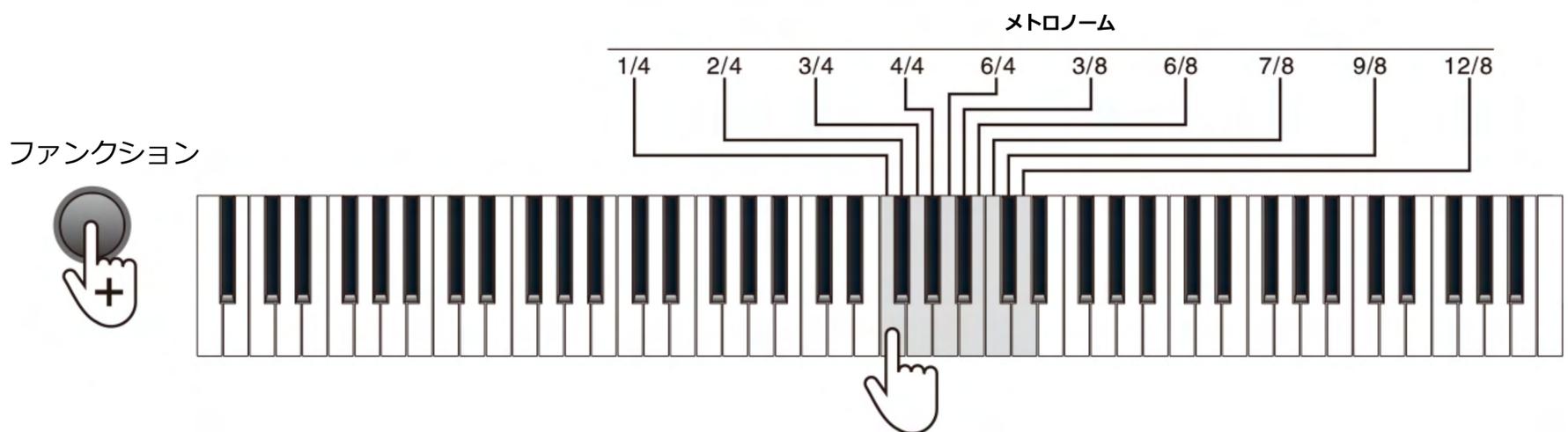


IV. メトロノーム

● メトロノーム

[⑥メトロノーム] ボタンでスタート・ストップします。

[④ファンクション]と「メトロノーム」操作対応鍵盤を押すことで1/4～12/8の拍子を選べます。(10種類)



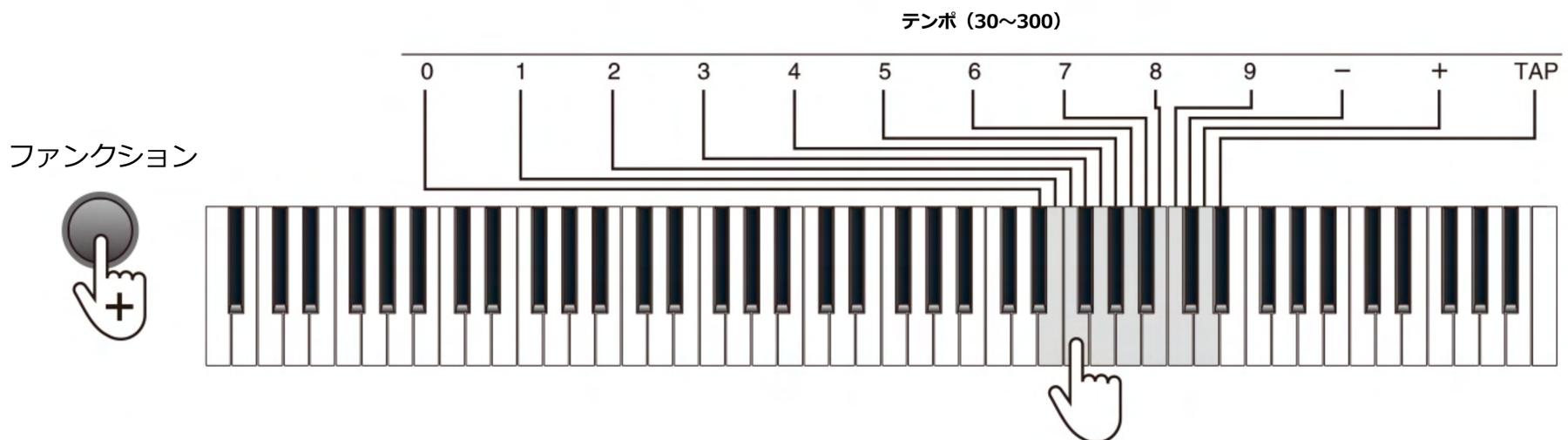
● テンポ

テンポの初期設定はBPM120になっており、30から300まで変更することができます。

[④ファンクション]と「テンポ」操作対応鍵盤で好きなテンポを指定するか、

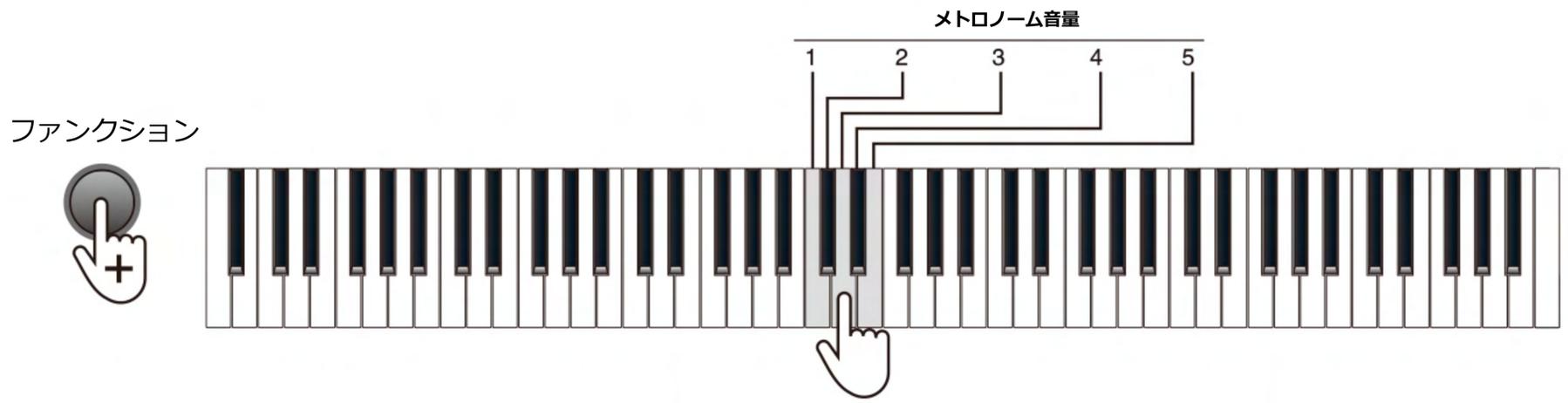
[-][+]操作対応鍵盤でテンポの速さを調整できます。

初期設定に戻すには[④ファンクション]と[TAP]操作対応鍵盤を押します。



● メトロノームの音量

[④ファンクション]と「メトロノーム音量」操作対応鍵盤の[1~5]を押すことで音量を5段階調整できます。



V. その他の機能

● サスティン

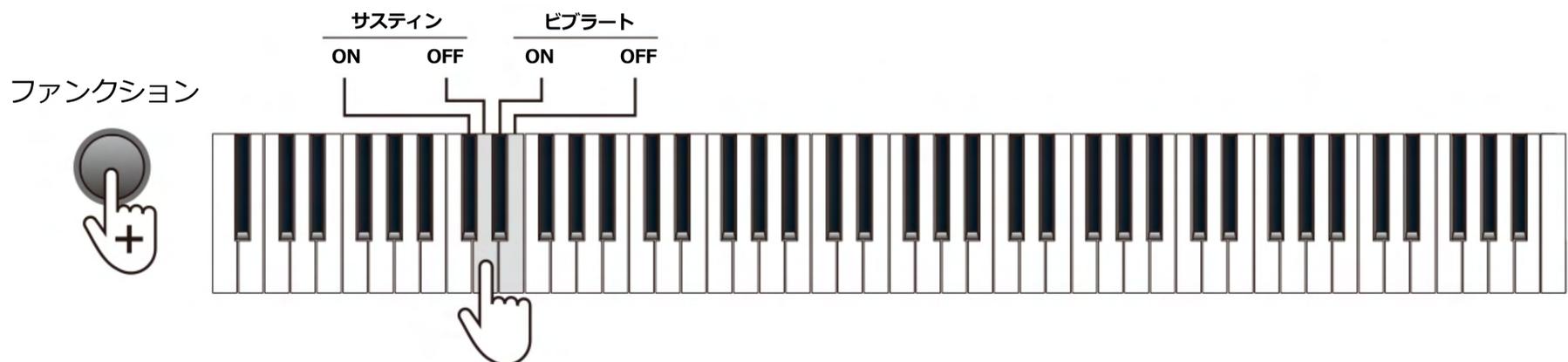
弾いた音を伸ばします。

[④ファンクション]と「サスティン」操作対応鍵盤の[オン/オフ]で効果をオン/オフします。

● ビブラート

弾いた音を揺らします。

[④ファンクション]と「ビブラート」操作対応鍵盤の[オン/オフ]で効果をオン/オフします。

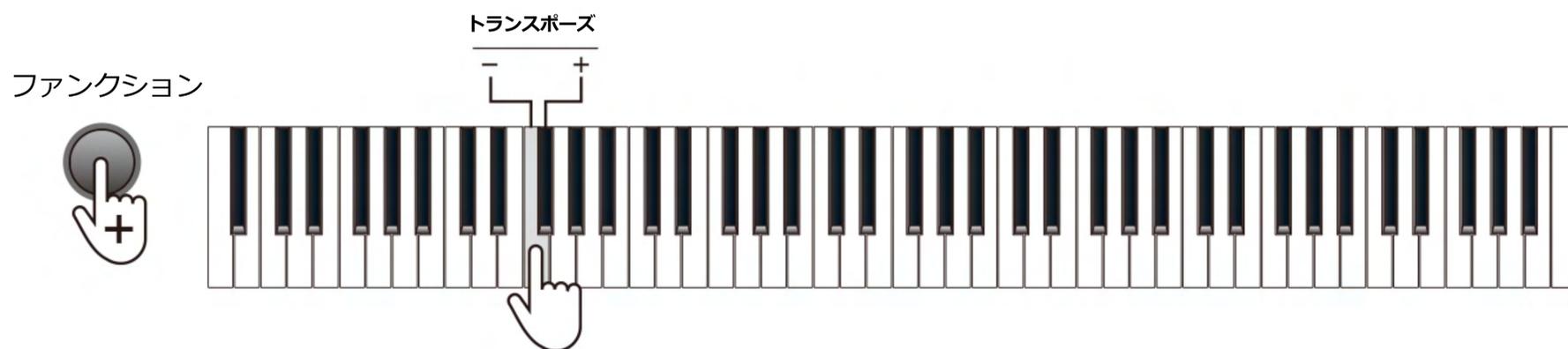


● トランスポーズ

トランスポーズ機能では、調を"-6"から"+6"まで変更することができます。基本設定は0です。

[④ファンクション]と「トランスポーズ」操作対応鍵盤の[-][+]で調整してください。

初期設定に戻すには[④ファンクション]と[-]と[+]を同時に押します。

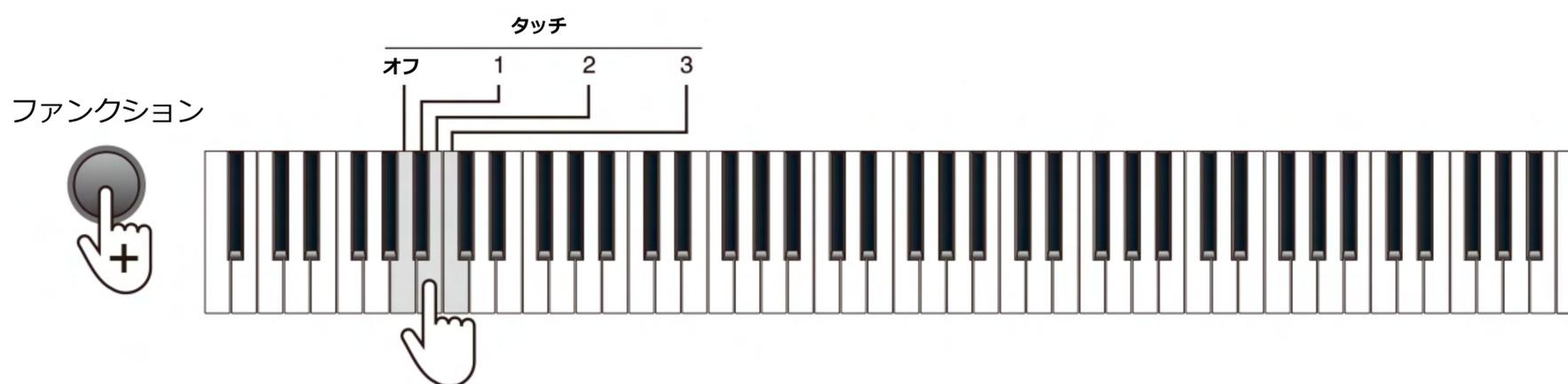


● タッチコントロール

[④ファンクション]と「タッチ」操作対応鍵盤の[オフ、1~3]でタッチ感度を3段階調整することができます。

[1]に設定すると鍵盤が軽く、[3]に設定すると鍵盤を重く感じることができます。

[オフ]に設定するとタッチレスポンス機能がなくなり、どの強さで鍵盤を弾いても同じ音量が出るようになります。



● スプリット

2種類の音色を鍵盤の左側と右側に割り振る機能がスプリットです。

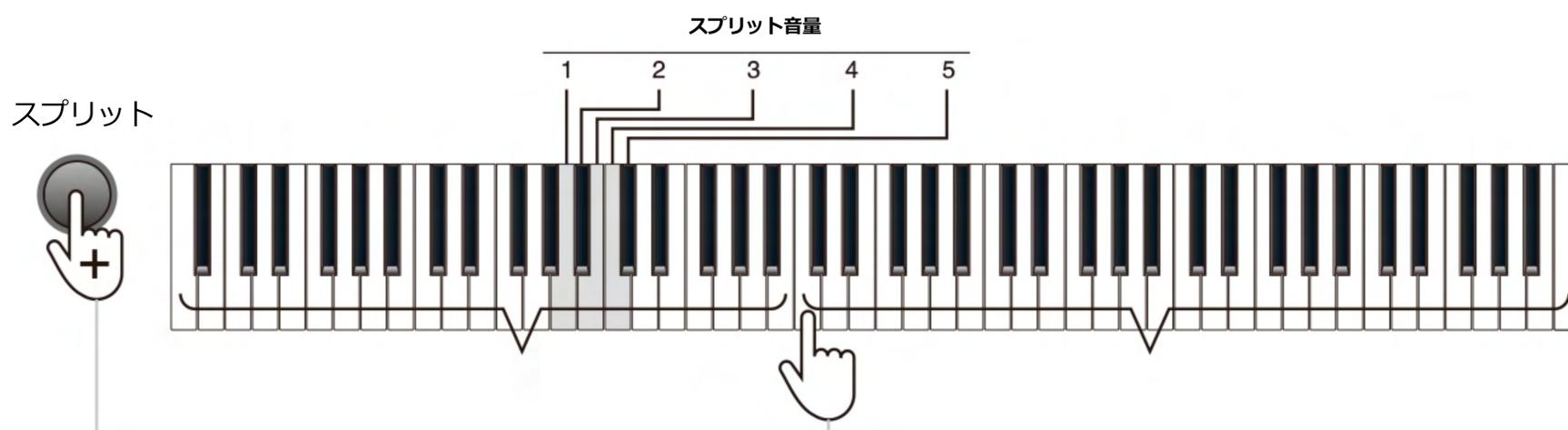
スプリット機能を有効にする前に予め左手側で演奏する音色を設定しておき、

その後右手側で演奏する音色を設定します。

◆ [⑧スプリット] ボタンで機能をオン/オフします。

[⑧スプリット]ボタンと同時に左右で分けたい部分の境目の鍵盤を押します。

この時押した鍵盤が右手側の一番左の鍵盤となります。



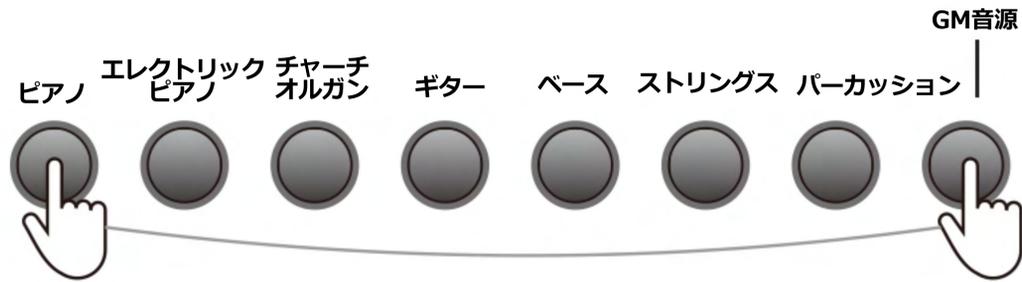
◆ 鍵盤が左右に分けられると、左手側は1オクターブ高く、右手側は1オクターブ低く設定されます。

◆ [④ファンクション]と「スプリットボリューム」操作対応鍵盤の[1~5]で左手側の音量を調節することができます。

◆ スプリット機能をオンにした後、通常通りの音色の選び方で右手側の音色を変更することができます。

● デュアル音色

お好きな2つの音色ボタンを同時に押すことでデュアル音色機能を有効にし、
選択した2つの音色を重ねて演奏することができます。

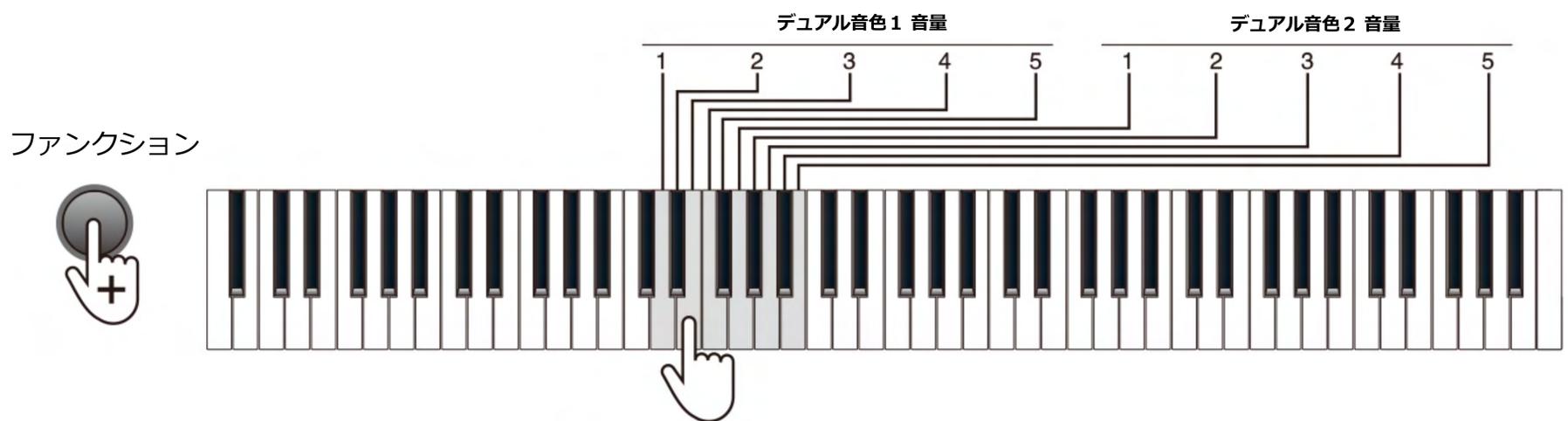


フロントパネルの基本8音色以外の音色を重ねたい場合は、

まず [⑩GM音源] でお好きな音色を選択してから [⑩GM音源] ボタンと基本音色ボタンを同時に押してください。
重ねた音色はそれぞれ音量を5段階調整することができます。

[④ファンクション] と「デュアル音色1 音量」操作対応鍵盤の [1~5] : 最初に選択した音色の音量を調整

[④ファンクション] と「デュアル音色2 音量」操作対応鍵盤の [1~5] : 後から選択した音色の音量を調整



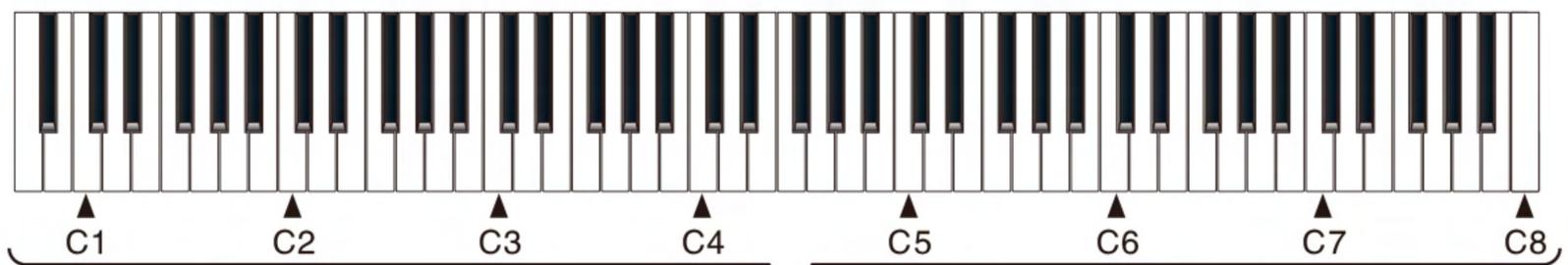
VI. レッスンモード

● レッスンモード

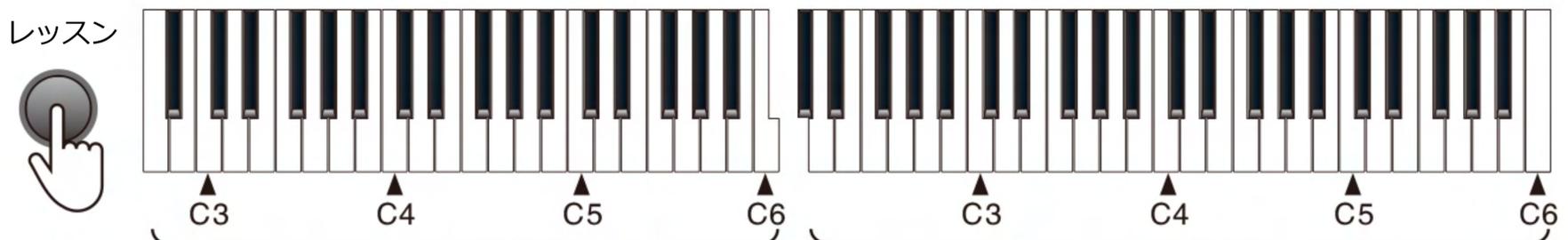
[⑦レッスン] ボタンでレッスンモードのオン/オフを切り替えます。

レッスンモードをオンにすると88の鍵盤が左右2つに分かれ、
同じピアノが2台並んでいるような音域に設定されます。

生徒と先生・生徒同士など2人同時に同じ音程・音色で練習することができます。



レッスンモード「オフ」時



レッスンモード「オン」時

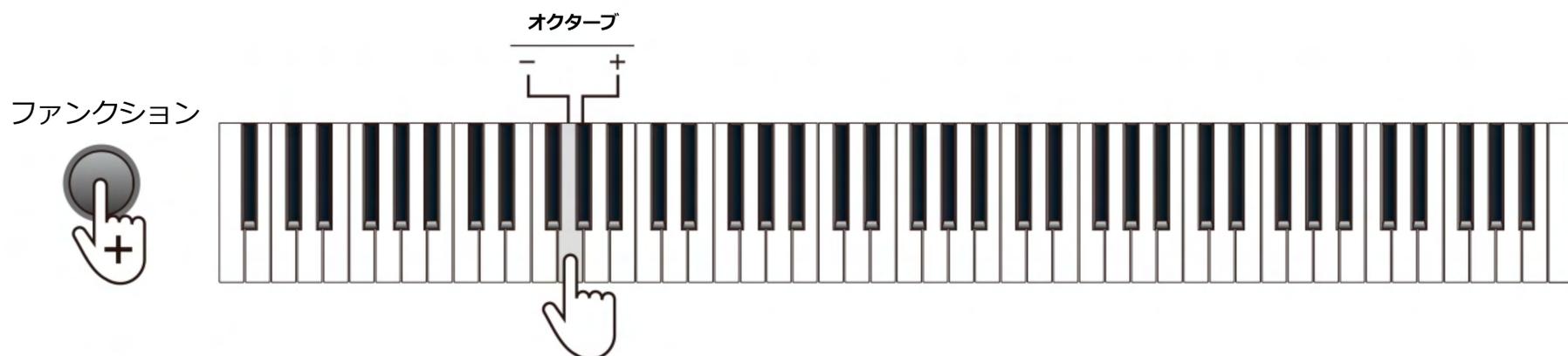
● オクターブ調整

レッスンモードでは、オクターブを "-2" から "+2" まで調整することができます。初期設定は0です。

[④ファンクション]と「オクターブ」操作対応鍵盤の [-][+] で音域を上下に調整してください。

初期設定に戻すには [④ファンクション] と [-] と [+] を同時に押します。

※オクターブ調整はレッスンモード使用中のみ可能です。



VII. 録音モード

● 録音

[④ファンクション]と「録音」操作対応鍵盤の [録音] で録音モードがオンになり、もう一度押すとオフになります。

録音モードではメトロノームが自動で機能し、お好きな鍵盤を押すことで録音が始まります。

[④ファンクション]と [⑳テンポ] を押してテンポを調整してください。

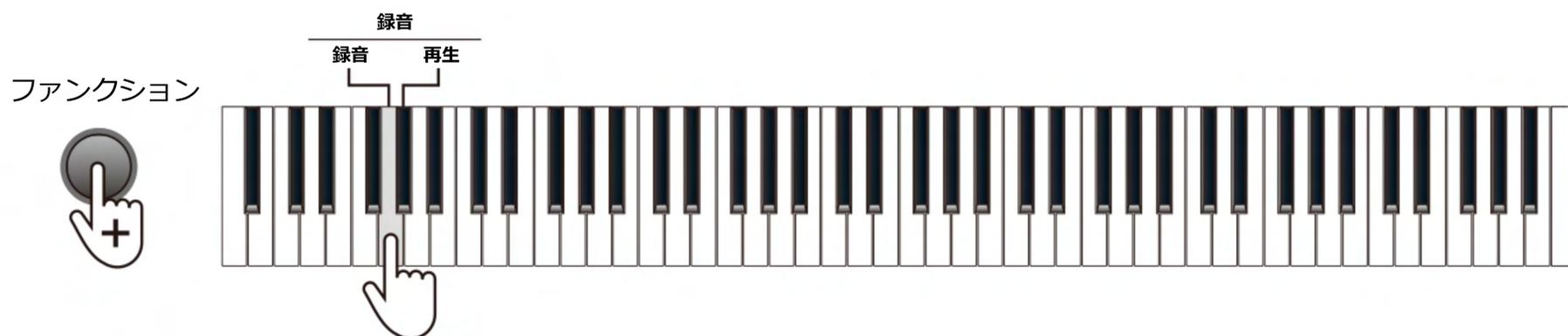
最大700音数まで録音することができます。

容量がいっぱいになった場合は録音モードは使えなくなり、メトロノームも自動的に停止します。

● 再生

[④ファンクション]と「録音」操作対応鍵盤の [再生] で録音したものを再生することができます。

再生中にもう一度 [④ファンクション] と [再生] を押すと停止します。



音色リスト

000 Acoustic Grand Piano	035 Fretless Bass	070 Bassoon	105 Banjo
001 Bright Acoustic Piano	036 Slap Bass 1	071 Clarinet	106 Shamisen
002 Electric Grand Piano	037 Slap Bass 2	072 Piccolo	107 Koto
003 Honky-tonk Piano	038 Synth Bass 1	073 Flute	108 Kalimba
004 Rhodes Piano	039 Synth Bass 2	074 Recorder	109 Bagpipe
005 Chorused Piano	040 Violin	075 Pan Flute	110 Fiddle
006 Harpsichord	041 Viola	076 Bottle Blow	111 Shanai
007 Clavichord	042 Cello	077 Shakuhachi	112 Tinkle Bell
008 Celesta	043 Contrabass	078 Whistle	113 Agogo
009 Glockenspiel	044 Tremolo Strings	079 Ocarina	114 Steel Drums
010 Music Box	045 Pizzicato Strings	080 Lead 1 (square)	115 Woodblock
011 Vibraphone	046 Orchestral Harp	081 Lead 2 (sawtooth)	116 Taiko Drum
012 Marimba	047 Timpani	082 Lead 3 (calliope lead)	117 Melodic Tom
013 Xylophone	048 String Ensemble 1	083 Lead 4 (chiff lead)	118 Synth Drum
014 Tubular Bell	049 String Ensemble 2	084 Lead 5 (charang)	119 Reverse Cymbal
015 Dulcimer	050 Synth Strings 1	085 Lead 6 (voice)	120 Guitar Fret Noise
016 Drawbar Organ	051 Synth Strings 2	086 Lead 7 (fifths)	121 Breath Noise
017 Percussive Organ	052 Choir Aahs	087 Lead 8 (bass+lead)	122 Seashore
018 Rock Organ	053 Voice Oohs	088 Pad 1 (new age)	123 Bird Tweet
019 Church Organ	054 Synth Voice	089 Pad 2 (warm)	124 Telephone Ring
020 Reed Organ	055 Orchestra Hit	090 Pad 3 (polysynth)	125 Helicopter
021 Accordion	056 Trumpet	091 Pad 4 (choir)	126 Applause
022 Harmonica	057 Trombone	092 Pad 5 (bowed)	127 Gunshot
023 Tango Accordion	058 Tuba	093 Pad 6 (metallic)	128 Yong Gin
024 Acoustic Guitar (nylon)	059 Muted Trumpet	094 Pad 7 (halo)	129 Zheng
025 Acoustic Guitar (steel)	060 French Horn	095 Pad 8 (sweep)	130 Zhong Ruan
026 Electric Guitar (jazz)	061 Brass Section	096 FX 1 (rain)	131 Pi Pa
027 Electric Guitar (clean)	062 Synth Brass 1	097 FX 2 (soundtrack)	132 Big Souna
028 Electric Guitar (muted)	063 Synth Brass 2	098 FX 3 (crystal)	133 Souna
029 Overdriven Guitar	064 Soprano Sax	099 FX 4 (atmosphere)	134 Er Hu
030 Distortion Guitar	065 Alto Sax	100 FX 5 (brightness)	135 Yue Hu
031 Guitar Harmonics	066 Tenor Sax	101 FX 6 (goblins)	136 Di Zi
032 Acoustic Bass	067 Baritone Sax	102 FX 7 (echoes)	137 Bong Di
033 Electric Bass (finger)	068 Oboe	103 FX 8 (sci-fi)	138 Koto
034 Electric Bass (pick)	069 English Horn	104 Sitar	139 Qu Di